

2023年(令和5年)4月29日(土) NO 181号

K-PURO NEWS

【事業所】

- ◆ 商号 株式会社 ケイプロ <https://k-puro.co.jp>
- ◆ 屋号 都市防犯プランニング社 mail info@k-puro.co.jp
- ◆ 本社 埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨 TEL 048-446-9445
- ◆ 千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置



メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 幹旋の管理業務

【加盟団体】



RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>



NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>



公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>



公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.moralogy.jp/>

【応援団体企業】



我が国一の歴史と実績 since 1957
公益財団法人 アイメイト協会



今月の言葉

自分と相手は違って当たり前



自分と相手は立場も考えも違って当たり前です。
そんな相手を尊重するには、何事も「自分の立場から見た物事のあり方」にこだわるのではなく、相手の立場に立って考えてみる必要があります。
とはいえ、相手の立場を 100 パーセント理解することはできませんから、

まずは「いかに相手を気づかうことができるのか」が大切になるのではないのでしょうか。

「相手の素晴らしいところを見つけたら尊重する」というのではなく、相手の事情や思いに自ら心を寄せていくことが、円満な人間関係を築く第一歩になるでしょう。

今月の良い話

本当に強くなるための練習

高校、大学と柔道に打ち込んでいく中で、細川伸二先生との出逢いは僕にとって大きな転機となった。細川先生はロサンゼルスオリンピックの金メダリストで、当時は天理大学で師範として生徒指導に当たられていた。

伝統ある天理大学の柔道部には多くの人材が集まってくるため、トップ集団に交じっての練習は当然辛く厳しいものとなった。練習前になると憂鬱になることもしばしばだったが、日々厳しい練習を積み重ねなければ、試合で勝つことは到底できない。

例えば「乱取り」といって、試合形式で6分×12本を行う実践的な練習がある。

実際の試合時間は5分間だが、緊張感や恐怖感、そしてプレッシャーを感じつつ戦うだけに、試合後の疲労感たるや相当のものだ。

それだけに、乱取りにおいても一本一本を本番の如く臨めば、その疲労感たるや言語を絶するものとなる。

ところが毎日のように厳しい練習を課されていると、強くなるための練習をしているはずが、いつの間にか練習をこなすための練習になっていく。

自分では追い込んでいるつもりが、「あと何分で終わるか、あと何本残っているか」ということを常に計算しながら、淡々と頑張るようになる。

乱取りについて言えば、6分×12本ができる練習をするようになるということだ。

大学2年生の時に、細川先生に突かれたのはまさにそこだった。

「そんなもん、ほんまに強くなる練習じゃないぞ」

「おまえがもし本当に上を目指すのであれば、残り時間のことを気にするな」

そして細川先生は、こう付け加えられた。

「1本目から試合のことを念頭に行け。もし途中で苦しくなって、もう動けない、これ以上できないと思ったら休んでもいい。だから最初から試合をするつもりで集中してやれ」と。オリンピックチャンピオンから直々に言葉をいただいたことは、僕にとって大きな喜びとなる。そしてその喜びは、練習の取り組み姿勢まで大きく変えていった。



それまでの僕は、やる気の出ない日や気分が何となく乗らない日には、先生から一番遠いところで練習をしていた。

少しでも先生の目の届かないところだと思うのだが、サボって先生の顔色を窺う選手ほど、広い視野で道場を見ている先生と目が合う。

そういった経験は誰にでもあるのではないだろうか。

細川先生からアドバイスをいただいたことを機に、僕はその姿勢を一変させた。

その日を境に常に先生の目の前で練習をすることにしたのだ。

それは単に先生に見てもらおうというのではなく、自分の練習を見せつけてやろうと思ったからに他ならない。

男子柔道 60 キロ級五輪3連覇

野村 忠宏

記事提供 致知出版社

今月の良い話 命のご飯

私にとってはどうも、裸になって動物と触れ合って生きるということは、自分が生きていくための命の栄養、「命のご飯」の一つのような気がしてならない。体にご飯が必要なように、命にもご飯が要る、という気がするのです。だから、命が老いないためにも、成り上がらないためにも、悲しんだり、悩んだり、惨めになったりすることは、とても大切だと思う。とくに日本の都会生活はいま、どこへ行っても金ピカになってしまった。大理石で固めた無機質の空間が多くなって、俗っぽく息づいている人間の命というものが、だんだん姑息になり、ものの考え方や感じ方が衰弱してきている。そうすると、ヤケにいろいろなものが気になって、批判的になって、小さなことまで人に押しつけるようになるんです。

例えば、魚を釣るのは非常にかわいそうだとか、実験動物はかわいそうだ、といている人がいるが、命が細くなってそういうことをいい始めている。切ないことだと思います。大自然の生命、命というのは哲学とか思想というものを欲していません。思想は人間がつくったもので、共産主義の崩壊したのでわかるように、ファッションであって、どう見たっていつかは滅びる。しかし、生命というのは何億年も続いた舞台の中で生きているものなんです。その舞台がなければ、何も反応しない、本当に俗な世界です。命は太陽の光が必要だったり、風が必要だったり、風が皮膚にどのくらい当たるかで反応してしまうのです。そうした命を持つ生き物とのつながりみたいなものに、自分の命を置くことに、私はこの上ない興味がある。



インドの泥水を飲んだり、獰猛な動物と触れ合ったり、そういうことができるという基本的な秘訣は常に気持ちが前向きであるということです。

それが非常に大切です。ほかにもいろいろな表現があると思います。

「神に感謝する」といってもいい。私が好きなのは、「いま、自分がここに生きていることに対して感謝する」というか、「生きている」という事実に対して、自分が前向きに喜んでいるということですね。わざとでもいいから「喜んでいる」ということが秘訣です。

アマゾンの奥地で暮らすときでも、私は日本の食べ物を一切、持っていかない。当然ながら現地のものしか食べられないわけで、それを「おいしい」と思って食べる。一度でも「まずい」と感じたらもう駄目ですね。

下痢はするし、風邪はひく。命を落とす羽目にさえなります。

だから、うそでも、景気づけでもいいから、「アッ、おいしいではないか、もっと持ってこい!」と一番先にやる。そうすると、不思議に病気にならない。

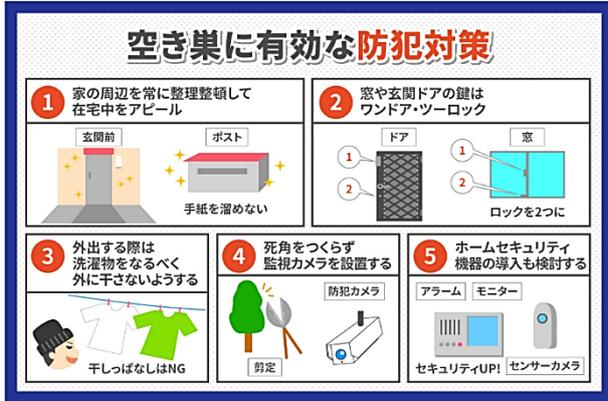
だから、常にあらゆる環境を楽しんでしまうというところに、私は、人生を生き抜く秘訣があるように思います。

////////////////////////////////////

作家 故・畑 正憲 (ムツゴロウさん)

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO181 空き巣に有効な防犯対策



コロナが終息し、空き巣被害が前年比 1.5 倍に増えているそうです。泥棒もコロナで自粛していた活動を再開させているようです。特にこれからのゴールデンウィーク期間中は注意が必要です。自分の家は盗られるものがないから心配ないと言われる方がいますが、不在の間に侵入されたり、夜間に忍び込みをされたら

どうでしょう。精神的ダメージはトラウマとして残り、安心な生活だったという根拠のないソフト面は一瞬にして奪われてしまいます。

一度ご自宅をゆっくりと見まわしてみて、自分が泥棒だったらどこから入るかを考えてみて下さい。

センサーライトや防犯カメラも有効ですが、私が一番効果的だと考えるのは、警備会社とオンラインで繋がっているホームセキュリティです。

最近はスマホで外周の映像を確認できるタイプも出てきていますので、是非検討されてはいかがでしょうか。

プロ太の小話集 NO181 「優秀な CA」

飛行機の機内で不安顔の紳士がキャビンアテンダントに尋ねた。

紳士 「この飛行機が墜落する確率はどれくらいかね？」

CA 「1 万分の 1 以下ですのでご心配なく」

紳士 「私は数学者だから、それくらいの確率では安心できんな」

キャビンアテンダントは少し考えてから微笑んだ。

CA 「それではお客様が、今この機をハイジャックしてみませんか？」

紳士 「どういうことかね？」

CA 「飛行機がハイジャックされて墜落した確率は 1000 万分の 1 以下になります」



////////////////////

今月の表紙の花 : カキツバタ「思慕」

万葉集にも登場するカキツバタは古くから愛されてきた花です。巻頭の今月の言葉には、円満な人間関係を築いていく第一歩は、相手の事情や思いに自ら心を寄せていくことと記されています。ムツゴロウさんは、これを動物にも実践され、見事に幾重の花を咲かせてきました。前向きで喜んだ気持ちで何事にも接する。巨匠に教えられた言葉です。

注：プロ太とは、写真の K-PURO 番犬です (体長 10 メートル・体重 1 トン・無敵無敗)